

Go For It !

平成29年9月28日発行 第7号

福島県立相馬高等学校第1学年

成長するとき



私は大学受験の際、美術の実技試験のデッサン練習が必要でした。初心者の方に恩師はブルータスという人物の像を課しました。試験時間は5時間でしたが、「まず初めは納得いくまでやっごらん」と言われ、結果的に私は2か月間それを描き続けることになりました。

先生が「細かな陰影よりも大きな面の組み立てをしなさい」など色々なアドバイスをしてくれますが、何を言っているか理解できず、絵のどこを直せばよいか分かりません。特に初心者は自分ではうまく描けているつもりですから。ひとまず現状は良くないのだろうという思いで、参考作品を見て、描いては消して、描いては消してを続けました。せっかく描いたものを消して描いて、それで良くなった気がしない毎日というのは辛いことです。

しかし、この期間が、長く美術と関わる上で大切な基礎となったように思います。もし私が先生の助言が分からないからといって、現状の描き方を維持し自分を安心させていれば、今もその意味は分からないままだったでしょう。成長するとき、現在の自分というものを大事にし過ぎず、変化を恐れないことが大切だと思います。目標を見つけ出して、先の自分を信じて頑張りたいと思います。がんばれ相高生！

(2組担任 根本知樹)

「文理選択について」

4月から検討してきた文理選択も10月中旬の最終確認をもって確定させていただきます。各自、「総合的な学習の時間」や「オープンキャンパス」などを通して進路に向き合ってきたと思います。その進路希望と文理・科目選択に間違いがないかも一度確認してください。特に「本人のみ」「保護者のみ」で確認・決定するのではなく「本人と保護者」



の話し合いの場を設けて確認を行ってください。進路について情報共有が重要です。今後ともご家庭で「学校生活」や「進路」について話し合う機会を数多く設けていただければ幸いです。(教務部 鈴木)

英検準2級を目標に英語力アップを目指そう！！

10月7日(土)に英検が行われます。1年生は今年度中に準2級取得を目標に掲げていますので、今回の受験者は準2級100名、2級3名とたいへん多くなっています。平成33年度入試から新しい大学入学共通テストが行われ、英語は外部の英語の検定試験が導入されます。現在も先取りで資格取得していると優遇される大学が増えています。そのため、今年度の1年生に少しでも受験の年に有利になるように英検取得を目標に頑張りたいと思っています。大学入試における優遇パターンの例を次にあげます。

- 優遇パターン①：**得点換算** 準2級を80点、2級を90点、準1級を100点換算し、入試の英語の得点とみなす。
- 優遇パターン②：**加点** 準2級で+10点、2級で+15点など入試の得点に加点。
- 優遇パターン③：**判定優遇** 入試の得点が同点の場合、英検を持っていると合否判定で優遇。
- 優遇パターン④：**出願資格** 英検準2級を持っている受験生だけが出願できる。

英検は客観的な英語力の指標になります。進研模試や全統模試でも好成绩が期待できるはず。わざわざ受験料を支払い受験する検定試験です。無駄になることのないように、10月7日に向けて、しっかり問題集を使って勉強しましょう。また、今回受験しない人は1月の受験チャンスのみになります。1回で合格できるように勉強しましょう。(英語科 大関)

10月の行事予定

- 10月2日(月) 衣替え、登校指導(～6)
- 5日(木) 山形大学見学会
- 7日(土) 英検
- 13日(金) 面接週間、短縮45分授業(～20)
- 17日(火) 7校時カット
- 19日(木) 7校時カット
- 21日(土) 全統模試
- 27日(金) 1・2学年PTA進路講演会
- 28日(土) 進研模試(全員受験)

文理選択の機会を生かし進路を考えてみよう。興味のある学問や職業について再度確認を。目標が明確になると、やるべきことが見えてくる。



ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト

「食育講演会」講師 野菜ソムリエ 藤田浩志氏

9月14日（木）7校時目の総合学習の時間に講武堂にて「高校生の食生活について」というテーマで講演が行われました。話題は、「農業という職業」「野菜嫌い」「地産地消」「フードマイレージ」など幅広く、生徒からは野菜のおいしい食べ方などの質問が出ました。



～生徒の感想より～

「野菜ソムリエ」という存在を初めて知りました。「野菜や果物にはそれぞれ個性があり、それを生かす食べ方をする」と聞いて、あたり前のようにみえて実際は難しいことなんだなと思いました。

2011年3月11日の原子力災害で福島県の農業に大きな影響が及ぼされたことは知っていましたが、実際どのぐらい大変なことかということは何も知りませんでした。福島の食べ物を食べてもらいたいと思っても失われたものを取り戻すのはとても大変ということも考えさせられました。これからの食生活、旬の野菜に目を向けて、どんな料理ができるのか自分で作ってみたいと思いました。（1組）



一番大切なことは楽しく食べることだと聞いたので、毎日の食事を楽しくバランス良く食べようと思った。旬の野菜は栄養価が高いことがわかったので今は何が旬なのかを調べてみたりして食事に生かしたいと思った。

今までの自分はフードファディズムだったのでこれからはそのようなもので済ましていくのではなく、しっかりとした食事をして健康にしたいと思った。（3組）

苦手な野菜があってそれを食べないのではなく含まれている成分を調べてそれに似た野菜で補えばいいということが分かりました。また、農家という職業でも野菜ソムリエ、ラジオに出演するなど幅広い仕事をできることを初めて知り、びっくりしました。野菜をただ食べるだけでなく旬を気にして食べていこうと思いました。（4組）

福島の今の農業の状態について知ることができました。また、野菜ソムリエさんらしい野菜についての知識を詳しく知ることができました。福島の農業について聞くと、本当に原発事故の影響が大きかったんだとあらためて思いました。けれども、少しずつ回復していると聞いたので良かったです。

野菜についてのことを知ることができて良かったです。自分が嫌いな野菜については同じ栄養を持つもので代えるなど自分では思いつかないことばかりでした。本当に参考になった良い時間でした。（2組）

「野菜ソムリエ」は聞いたことはあったけど、どんなことをしているのかわからなかった。今回知ることができ良かった。今回の講義で最も印象に残ったのは、フードファディズムについてのことだった。自分は最近カロリーをチェックすることが多いけど、「mg」が多く使われているのにそれまで意識していなかった。でも、言われてみれば（含まれる成分が） $1000\text{mg} = 1\text{g}$ …とても少ないなと思った。自分は野菜がそれなりに好きなのでいろいろな食べ方を試してみたいと感じた。（5組）

*フードファディズム Food faddism (fad : 一時的流行、気まぐれ)

…食べ物や栄養が、健康や病気に与える影響を過大に評価したり信じたりすること
(科学的知見の拡大解釈 根拠のない神話)

(例) 数字・単位のトリック ○○の何倍○○を含有!・○○mg配合!

